

赤羽NOW

あかば・ナウ



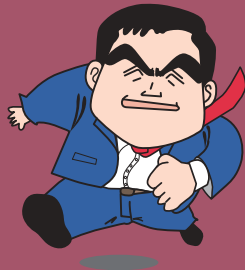
2011年新春号
兵庫2区
(長田区・兵庫区・北区)

652-0047
神戸市兵庫区下沢通7丁目2番28号フローラ上沢2A
TEL078-575-5139 FAX078-575-5140

前衆議院議員 赤羽かずよしの活動報告誌 赤羽NOW

私は、現在、皆様のご支援に支えられ、捲土重来を期し、毎週火・水曜は永田町・霞が関で仕事をする一方、週の大半の日々を地元の皆様とじっくり対話を重ねる日々を過ごしています。

わが国の外交、経済、財政、行政が壊れ始めているにもかかわらず、何の手も打たずに党内抗争に明け暮れる民主党政権の姿を見るにつけ、実に多くの方々が「赤羽さん、わが国はこのままでホントに大丈夫なの?」と異口同音に慨嘆されています。



わが国が直面する一番の問題点は、(政治の混乱は別として…)少子高齢・人口減少社会です。このままいけば、経済成長ができず、増加する社会保障費を負担することが困難になり、生活水準は下がる一方となってしまいます。この克服のキーワードは、「経済成長」「科学技術力」「教育の見直し」「新しい社会保障」「財政再建」であります。



ノーベル化学賞・野依良治理化学研究所理事長等からスーパーコンピューターに関する要請を受ける

「デフレ脱却、年3%程度の経済成長」の実現

金融政策を遅ればせながら見直し、1ドル=100円水準の円安に誘導し、わが国の輸出産業の競争力を回復します。

そして、わが国が優れた技術を持つ分野で、日本型システムを世界水準にするよう官民あげて取り組むことが必要です。

わが国の地デジシステムをブラジルが採用し、続いてペルー、アルゼンチン、チリでも採用されたことは久しぶりの朗報です。

日本のハイブリッド車や電気自動車が世界の車社会の中心となり、日本の原子力発電技術が世界の石油依存を根本的に改革することは夢ではありません。

国内においては、地球温暖化に対応する安全な社会資本整備、高齢社会向けの社会システムの確立、エコライフの推進、食料自給力の向上、観光振興を進めます。

「科学技術力」の育成

私が現職の時に神戸へ誘致した「世界一のスーパーコンピューター」開発事業は、「世界2位では何故いけないの?」との事業仕分けで予算を大幅にカットされてしまいました。

世界一のスーパーコンピューターでなければ各国の新産業開発に活用されないのは常識であり、ノーベル賞受賞者の方々の不興を買いました。残念ながら、昨秋、中国・天津で世界一のスーパーコンピューターが開発されたとのニュースが世界を駆け巡りましたが、日本国内で揉めている間にも世界では熾烈な競争がなされているのであり、国家百年の大計からもこの事業仕分けはあまりに愚かで残念です。